

システム開発のシステムテスト業務で経験した内容をもとにハードウェアやOSとアプリケーションの関わりを教える。また、設計業務で体験した内容をもとに信頼性や性能に関する講義を行う。また、運用管理業務で体験した内容をもとにネットワークやデータベースについて教える。

シラバス

作成日

2020.04.01

科目名	IT技術基礎演習			担当教員名	若林 茂典・森崎 真由美		☒ 実務経験						
学科名	医療情報		学科	学年	1	単位数(時間数)	3単位(73時間)						
実施時期	8 月	～	10 月	授業形態	講義	△	演習	○	実習		実技		○は主、△は併用
教科書 及び参考書	「ITワールド」(インフォテックサーブ) 「IT戦略とマネジメント」(インフォテックサーブ)												
授業の概要とねらい													
IT技術基礎で学んだ知識の定着を図るために演習を行う。 前半はサーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級2部のレベルの問題に取り組む。 後半は基本情報技術者試験のレベルの問題で特に、セキュリティ技術とデータベース技術について問題演習を繰り返す。													
到達目標													
前半はサーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級2部に合格すること。 後半は基本情報技術者試験のセキュリティとデータベース分野の問題に対して7割以上の正解ができるようにすること。													
授業計画													
授業項目・内容			時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)									
演習1			3	IT技術基礎の復習を行う。									
演習2			3	セキュリティ技術ついて、演習解説を行いながらレベルアップを図る。									
演習3			3										
演習4			3	データベース技術ついて、演習解説を行いながらレベルアップを図る。									
演習5			3										
演習6			3	サーティファイ情報処理技術者能力認定試験の対策として模擬試験を繰り返す。 90分演習、自己採点、50分解説 を1セットとして繰り返す。 誤った部分をやり直しをして、レポートとして提出する。									
演習7			3										
演習8 2級2部演習			3										
演習9 2級2部演習			3										
演習10 2級2部演習			3										
演習11 2級2部演習			3										
演習12 2級2部演習			3										
演習13 2級2部演習			3										
演習14 2級2部演習			3	基本情報技術者試験の過去問題を使って、演習を実施する。 過去の出題問題を解かせて、ポイントを解説する。									
演習15 2級2部演習			3										
演習16			2										
演習17			2										
演習18			2										
演習19			2										
演習20			2										
演習21			2										
演習22			2	模擬試験で実施された問題の解説を行う。									
演習23			2										
演習24			2										
演習25			2										
基本情報 模擬試験 解説1			1										
基本情報 模擬試験 解説2			1										
基本情報 模擬試験 解説3			1										
基本情報 模擬試験 解説4			1										
基本情報 模擬試験 解説5			1	合計									
基本情報 模擬試験 解説6			1										
基本情報 模擬試験 解説7			1										
基本情報 模擬試験 解説8			1										
合 計			73										
時間外学習について													
演習で使った問題の復習をすること。誤った部分についてはレポートとして提出すること。													
成績評価の方法及び評価割合について													
サーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級2部の結果を50%、基本情報技術者試験の模擬試験及び本試験のセキュリティ及びデータベース分野の平均結果を50%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は、評価点が 90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。													
その他(科目と実務経験との関連性について)													
システム開発のシステムテスト業務で経験した内容をもとにハードウェアやOSとアプリケーションの関わりを教える。また、設計業務で体験した内容をもとに信頼性や性能に関する講義を行う。また、運用管理業務で体験した内容をもとにネットワークやデータベースについて教える。													

シラバス

作成日

2020.04.01

科目名	基本情報技術者試験対策講座				担当教員名	若林 茂典		□ 実務経験
学科名	医療情報			学科	学年	1	単位数(時間数)	3単位(55時間)
実施時期	7月	～	7月	授業形態	講義	○	演習	△
教科書 及び参考書	「ITワールド」(インフォテックサーブ) 「IT戦略とマネジメント」(インフォテックサーブ)							
授業の概要とねらい								
基本情報午前免除のためのIPA認定講座として実施する。 情報処理技術者能力認定試験2級1部の合格者を対象として、指定カリキュラムの講座を実施する。								
到達目標								
基本情報技術者試験午前免除試験(修了試験)に合格(60点以上)する。								
授業計画								
授業項目・内容						時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)	
セキュリティ(2情報セキュリティ管理)						1	教科書とパワーポイントを使い講義を行う。	
セキュリティ(2情報セキュリティ管理,3セキュリティ技術評価)						1		
セキュリティ(3セキュリティ技術評価) 法務(2セキュリティ関連法規)						1		
法務(2セキュリティ関連法規,3労働関連・取引関連法規)						1		
法務(3労働関連・取引関連法規) 経営戦略マネジメント(3ビジネス戦略と目標・評価)						1		
経営戦略マネジメント(3ビジネス戦略と目標・評価)						1		
演習1						1		
技術戦略マネジメント(1技術開発戦略の立案)						1		
技術戦略マネジメント(1技術開発戦略の立案,2技術開発計画)						1		
技術戦略マネジメント(2技術開発計画) システム戦略(3ソリューションビジネス)						1		
システム戦略(3ソリューションビジネス,4システム活用促進・評価)						1		
システム戦略(4システム活用促進・評価) システム企画(1システム化計画)						1		
システム企画(1システム化計画)						1		
演習2						1		
システム企画(2要件定義)						1		
システム企画(2要件定義,3調達計画・実施)						1		
システム企画(3調達計画・実施) システム開発技術(10保守・廃棄)						1		
システム開発技術(10保守・廃棄) プロジェクトマネジメント(2プロジェクトの統合)						1		
プロジェクトマネジメント(2プロジェクトの統合,3プロジェクトのステークホルダ)						1		
プロジェクトマネジメント(3プロジェクトのステークホルダ)						1		
演習3						1		
プロジェクトマネジメント(5プロジェクトの資源)						1		
プロジェクトマネジメント(5プロジェクトの資源,8プロジェクトのリスク)						1		
プロジェクトマネジメント(8プロジェクトのリスク,10プロジェクトの調達)						1		
プロジェクトマネジメント(10プロジェクトの調達,11プロジェクトのコミュニケーション)						1		
プロジェクトマネジメント(11プロジェクトのコミュニケーション)						1		
サービスマネジメント(5ファシリティマネジメント)						1		
サービスマネジメント(5ファシリティマネジメント)						1		
演習4						1		
システム監査(1システム監査)						1		
システム監査(1システム監査,2内部統制)						1		
システム監査(2内部統制)						1		
総合演習1						3	80分で演習を実施する。 演習後、自己採点、自己分析を行う。 90分解説を行う。 誤った問題はやり直しをレポートして、提出する。	
総合演習2						3		
総合演習3						3		
総合演習4						3		
総合演習5						3		
総合演習6						3		
総合演習7						3		
修了試験						3		
合 計						55		
時間外学習について								
演習・総合演習のやり直しをレポートにして提出する。								
成績評価の方法及び評価割合について								
総合演習の平均を30%、修了試験を70%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は、評価点が90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。								
その他(科目と実務経験との関連性について)								

科目名	基本情報技術者試験演習				担当教員名	森崎 真由美		☐ 実務経験					
学科名	医療情報		学科	学年	1	単位数(時間数)		1 単位 (36時間)					
実施時期	9 月	～	10 月	授業形態	講義		演習	☐	実習		実技		☐ は主、△は併用
教科書 及び参考書													
授業の概要とねらい													
基本情報技術者試験試験の合格を目指して、午後問題の演習・解説を行う。 基本情報技術者試験の問題を通して、IT技術者として基本的知識を身に付ける。													
到達目標													
基本情報技術者試験の午後問題が解けるようになる。 最終的には合格をすることを目指す。													
授業計画													
授業項目・内容						時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)						
基本情報技術者試験 模擬試験1・自己採点						3	基本情報技術者試験の過去問題や予想問題を利用した模擬試験を実施する。 午後問題を対象として150分で実施する。 その後、自己採点、自己分析を行う。 また、問題の解説については、IT基礎技術演習、アルゴリズム、表計算の講義の中で実施する。						
基本情報技術者試験 模擬試験2・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験3・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験4・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験5・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験6・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験7・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験8・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験9・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験10・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験11・自己採点						3							
基本情報技術者試験 模擬試験12・自己採点						3							
合 計						36							
時間外学習について													
模擬試験で解いた問題を理解し、解けるようになるまで復習をする。													
成績評価の方法及び評価割合について													
基本情報技術者試験 本試験の結果を100%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。本試験が受けられなかった場合は、模擬試験の結果を考慮して評価する。評価は、評価点が 90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとし、59点以下はD(不可)とする。 尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。													
その他(科目と実務経験との関連性について)													

シラバス

作成目

2020.04.01

科目名	表計算実習				担当教員名		森崎 真由美		☐ 実務経験				
学科名	医療情報			学科	学年	1	単位数(時間数)		2 単位 (65時間)				
実施時期	4 月	～	7 月	授業形態	講義		演習	△	実習	○	実技		○は主、△は併用
教科書 及び参考書	「30時間アカデミック 情報リテラシー Office 2016」(実教出版)												
授業の概要とねらい													
ビジネススキルのひとつである Office ソフトの Word、Excelの利用方法を教科書の演習を通じて学習する。 Excelを使用することによって、基本情報技術者試験の表計算対策の基礎となる考え方を学ぶ。													
到達目標													
Windows10 の基礎知識(Windowsやアプリケーションの起動終了、フォルダ操作)の習得、タッチタイピングの習得。 Word、Excel の基本的な操作方法を習得。表作成や文字色サイズの変更などのビジネス文章、関数機能を使った集計ができるようになること。													
授業計画													
授業項目・内容						時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)						
パソコンの基礎知識(Windows10の操作)						3	基礎知識 (1章)をもとに基本操作を学ぶ。						
入力練習(ホームポジション)						3	起動終了、フォルダファイルの操作、入力(IME、変換)						
入力練習(タイピング)						2	タッチタイピング (毎時間10分程度の入力練習)						
パソコンの設定(メール設定)						2	メール設定(To,Cc,Bcc、署名の説明)						
Word (実習)						5	各項目ごとに操作説明を行った後、教科書実習問題を解く。						
文書作成、表作成						5	例題1を実習および提出						
画像挿入、段組み、ルビ、改ページ						5	例題3を実習および提出						
ワードアート、文字の折り返し						3	実習7を実習および提出						
図形・数式の挿入、ページ罫線						3	例題5を実習および提出						
タイピングテスト						1	10分間500文字を目標						
まとめ課題						4	日商PC(文書処理)の3級過去問を2回分演習する。						
Excel (実習)						5	各項目ごとに操作説明を行った後、教科書実習問題を解く。						
表の作成、体裁						5	例題7を実習および提出						
表示非表示、ページレイアウト、数式計算						3	例題8を実習および提出						
相対参照、絶対参照、関数						3	例題11～16を実習および提出						
関数の利用、シート間の参照						3							
グラフと図形						3	例題19を実習および提出						
Excelデータの活用(WordにExcelデータを埋め込む)						3	実習28を実習および提出						
まとめ課題						4	日商PC(データ活用)の3級過去問を2回分演習する。						
合 計						65							
時間外学習について													
教科書の各章毎に該当範囲を事前に読んでおくこと。また、実習課題を解いて期日までに提出すること。 課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させること。													
成績評価の方法及び評価割合について													
実習課題は教科書の見本と同等である出来を評価する。 タイピングテストを20%、実習課題の出来を80%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は、評価点が 90 点以上をS、80 点以上をA、70 点以上をB、60 点以上をCとし、59 点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。													
その他(科目と実務経験との関連性について)													

その他(科目と実務経験との関連性について)

科目名	アルゴリズム入門				担当教員名	木村 宗裕		☐ 実務経験	
学科名	医療情報		学科	学年	1	単位数(時間数)		2 単位(37時間)	
実施時期	5 月	～	7 月	授業形態	講義	☐ 演習	☐ △	実習	実技
教科書 及び参考書									
授業の概要とねらい									
プログラムを学ぶ上でアルゴリズムの知識は必須である。本科目ではフローチャートを用いてアルゴリズムの考え方を習得するとともに、プログラミングをする上で必要なデータ構造(配列・木構造・スタック・リスト構造など)についても学ぶ。授業では複数回の演習問題と確認テストを実施することで知識の定着を図るだけでなく、今後受験することになる情報処理国家試験に備える。									
到達目標									
ソートや探索などの代表的なアルゴリズムについて理解し、フローチャートを用いて記述することができるようになる。また、基本情報技術者試験の午前問題レベルのアルゴリズムに関する問題を解くことができるようになる。									
授業計画									
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)			
導入(アルゴリズムとは何か)					1				
アルゴリズム体験					1	アルゴリズム2を用いてアルゴリズムを体験する。			
フローチャート・変数・分岐・繰り返し					2				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
カウンタ・集計・2重ループ					2				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
確認テスト1					1	ここまでの内容の確認テストを実施			
配列・多次元配列					2				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
文字と文字列					2				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
確認テスト2					1	配列～文字と文字列までの確認テストを実施する。			
データ構造(構造体・リスト構造・スタック・キュー)					3				
データ構造(木構造)					3				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
確認テスト3					1	データ構造のの確認テストを実施			
探索処理(順次探索・二分探索)					3				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
ソート処理(基本交換法・基本選択法・基本挿入法)					3				
ソート処理(ヒープソート・シェーカーソート・シェルソート・マージソート)					3				
練習問題					1	練習問題後、確認課題を配布			
期末テスト					2	全範囲を対象に期末テストを実施する。			
合 計					37				
時間外学習について									
講義内容について予習及び復習を行うこと。また、復習課題が出題された場合は必ず解き、提出をすること。									
成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について									
複数回実施する確認テストを30%、期末テストを70%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は評価点が90点以上ならばS、80点以上ならばA、70点以上ならばB、60点以上ならばCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。									
その他(科目と実務経験との関連性について)									

作成日 2020.03.13

科目名	アルゴリズム演習				担当教員名	木村 宗裕		□ 実務経験			
学科名	医療情報			学科	学年	1	単位数(時間数)	3 単位(68時間)			
実施時期	8 月	～	10 月	授業形態	講義	△	演習	○	実習	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書											
授業の概要とねらい											
アルゴリズム入門で学んだ知識を発展させるため、擬似言語を用いた演習を行う。演習は長文の問題を解き、それに対しポイントを講義・解説する形式で行う。なお、本科目は10月に実施する基本情報技術者試験のアルゴリズム分野の対策でもあるため、それに準じたレベルの問題を演習で用いる。											
到達目標											
基本情報技術者試験午後問題レベルのアルゴリズムの問題を解けるようになる。											
授業計画											
授業項目・内容						時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)				
導入・擬似言語とは						2	各項目について擬似言語を用いて説明したのち、演習問題で理解度を確認する。				
関数						2					
データ構造(配列・スタック・キュー・リスト構造)						4					
探索・ソート						4					
演習1・解説						2	擬似言語の問題の演習を行う。各演習では30分問題を解き、15分自己採点・見直し、55分解説を行う。間違えた部分についてはやり直しを行い、提出する。				
演習2・解説						2					
演習3・解説						2					
演習4・解説						2					
演習5・解説						2					
演習6・解説						2					
演習7・解説						2					
演習8・解説						2					
基本情報対策演習1						2	基本情報技術者試験を想定した対策演習を行う。各演習では30分問題を解き、20分自己採点・見直し、50分間解説を行う。また、模擬試験解説では別途行われる模擬試験についての解説を行う。間違えた部分についてはやり直しを行い、提出する。				
基本情報対策演習2						2					
基本情報対策演習3						2					
基本情報対策演習4						2					
基本情報対策演習5						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習6						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習7						2					
基本情報対策演習8						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習9						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習10						2					
基本情報対策演習11						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習12						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習13						2					
基本情報対策演習14						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習15						2					
模擬試験解説						1					
基本情報対策演習16						2					
合 計						68					
時間外学習について											
復習として、授業で解いた演習問題については必ずやり直しをすること。また、課題が配布された場合は必ず各自で解き、提出をすること。											
成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について											
複数回実施される模擬試験、及び10月に実施される基本情報技術者試験のアルゴリズム分野の得点で100%評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は評価点が90点以上ならばS、80点以上ならばA、70点以上ならばB、60点以上ならばCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。											
その他(科目と実務経験との関連性について)											

シラバス

作成日

2020.03.13

科目名	Java基礎				担当教員名	木村 宗裕				□ 実務経験		
学科名	医療情報			学科	学年	1		単位数(時間数)		1 単位 (40時間)		
実施時期	5 月	～	7 月	授業形態	講義	△	演習	△	実習	○	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	本格学習 Java入門〔改訂3版〕（技術評論社）											

授業の概要とねらい

本科目は、①プログラミングの基礎を学ぶ ②Java言語でのプログラムの作成方法を理解する の2点を目標とする。授業では参考書でポイントを説明・確認した後に演習課題を出題する。作成した課題のプログラムに対しては、提出後に担当教員によるチェックと指摘を行うことで高品質なプログラムの作成方法を学ぶ。なお、本授業は1年後期のJava応用の前提となる授業である。

到達目標

分岐や繰り返しが用いられた基本的なJavaのプログラムを作成できるようになる。また、メソッドについて理解し、メソッドの作成・利用ができるようになる。

授業計画

授業項目・内容	時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)
概要説明・環境構築	2	JDK・Jcpadのインストール
プログラムの作り方・文字の表示(参考書2-3～2-5)	2	授業前に教科書を確認する。
データ型と変数、算術演算子(参考書3-1～3-3・4-1～4-3)	2	授業前に教科書を確認する。
演習課題1 (変数を用いた計算及び結果の表示)	3	提出後添削を受け、不備がある場合は再提出を行う。
条件分岐Iと比較演算子(参考書5-1～5-2、4-4～4-7)	2	授業前に教科書を確認する。
演習課題2 (条件分岐)	3	提出後添削を受け、不備がある場合は再提出を行う。
繰り返し処理(参考書6-1～6-4)	2	授業前に教科書を確認する。
演習課題3 (繰り返し)	3	提出後添削を受け、不備がある場合は再提出を行う。
配列・多次元配列(参考書3-4)	2	授業前に教科書を確認する。
演習課題4 (配列・多次元配列)	3	提出後添削を受け、不備がある場合は再提出を行う。
メソッド(参考書7-1～7-4)	2	授業前に教科書を確認する。
演習課題5 (メソッドの呼び出し)	2	提出後添削を受け、不備がある場合は再提出を行う。
演習課題6 (メソッドの作成)	3	
総合課題1	3	難易度別に用意された課題を各自作成。提出後添削を受け、不備がある場合は再提出を行う。
総合課題2	3	
総合課題3	3	
合 計	40	

時間外学習について

授業内容についての予習・復習を行う。また、時間内に完成できなかった課題は授業時間外に作成し、指定された期日までに提出する。

成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について

出席状況・授業態度25%、提出課題(任意提出の応用課題含む)の完成度75%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は評価点が90点以上ならばS、80点以上ならばA、70点以上ならばB、60点以上ならばCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。また、他学生の課題をコピーして提出した場合、全ての課題についてやり直しと再提出を求める。

その他(科目と実務経験との関連性について)

--

シラバス

作成日

2020.03.13

科目名	HTML基礎				担当教員名	木村 宗裕			□ 実務経験				
学科名	医療情報			学科	学年	1		単位数(時間数)		1 単位(39時間)			
実施時期	11 月	～	12 月	授業形態	講義	△	演習		実習	○	実技		○は主、△は併用
教科書 及び参考書	HTML5&CSS3標準デザイン講座【第2版】(翔泳社)												

授業の概要とねらい

Webページを作成するときだけでなく、Webアプリを作成する際にもHTMLとCSSは非常に重要である。本科目ではHTMLとCSSの基礎を教科書を用いて実習形式で学び、Webページの作成方法を学ぶ。また、作成するだけでなくWebサーバ(Apache)を用いてWebページを公開する方法についても学習する。

到達目標

HTMLとCSSについての役割を理解し、それらを用いて構造的でレイアウトの整ったWebページの作成ができるようになる。

授業計画

授業項目・内容	時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)
授業内容の説明・環境構築(XAMPPのインストール)	1	Apacheを使用し、作成したWebページをオンラインで確認することが可能な環境を構築する。
HTMLとCSSの説明(P8～11)	1	
Lesson01 HTMLの概要(P14～19)	1	教科書を参考にポイントを説明し、Webページの作成を行う。作成したWebページはApacheでアクセスできるように設定し、教員によるチェック及び学生間での相互チェックを行う。
Lesson02 HTML文書のマークアップ(P20～31)	2	
Lesson03 ブロックレベルの基本タグ(P32～41)	2	
Lesson04 ブロックレベルの基本タグ(P42～48)	2	
Lesson04 絶対パスと相対パス(P49～53)	1	
Lesson05～06 CSSの概要・基本的なプロパティの使い方(P56～74)	3	
Lesson07 基本的なセレクトの使い方(P75～91)	3	
Lesson08 背景画像を使った要素の装飾(P92～101)	1	
Lesson09 CSSを使った要素の装飾(P102～108)	1	
Lesson10 初歩的な文書のレイアウトとボックスモデル(P109～118)	2	
Lesson11 表とフォームの設置(P124～136)	3	
Lesson12 表組と入力フォームのスタイリング(P137～148)	3	
課題制作 オリジナルのWEBページの企画・構造設計	2	作成したWebページは学生間で相互評価し、優秀作品はプロジェクトで投影し解説を行う。
WEBページ・CSSの作成	9	
WEBページの相互評価・まとめ	2	
合 計	39	

時間外学習について

授業内容についての予習・復習を行うこと。また、授業時間内に完成しなかった実習課題は必ず指定の期日までに完成させ提出すること。

成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について

出席状況と授業態度が25%、最終課題の完成度が75%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は評価点が90点以上ならばS、80点以上ならばA、70点以上ならばB、60点以上ならばCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。

その他(科目と実務経験との関連性について)

--

その他(科目と実務経験との関連性について)

科目名	データベース				担当教員名		木村 宗裕			□ 実務経験		
学科名	医療情報			学科	学年	1		単位数(時間数)		1 単位(37時間)		
実施時期	11 月	～	12 月	授業形態	講義	△	演習	○	実習	△	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	基礎からのMySQL 第3版 (SBクリエイティブ)											
授業の概要とねらい												
SQLによるデータベース操作は、今後の授業においても将来の仕事においても必ず必要になる知識である。本科目ではMariaDBを用いてデータベースのインストールや環境構築の方法から学んだ後、SQLを使用したデータベース操作について実習も交えて学び、演習課題やテストを通じて理解を深める。なお、この授業は2年次のデータベースアプリ構築へ繋がる授業である。												
到達目標												
MariaDBを用いてデータベースの環境構築が行うことができるようになる。また、加えてSQLによるテーブル作成や各種操作を理解し、管理を行うことができるようになる。												
授業計画												
授業項目・内容						時間数 (コマ)		教育活動(教材、指導上の注意点)				
概要説明・環境構築						1		XAMPPのインストール、MariaDBの言語設定				
MariaDBの起動・ログイン						1		教科書をベースに実習				
データベースの作成・データ型・テーブル作成・データの追加						2						
テーブルの変更・コピー・削除						1						
確認テスト1						1		ここまでの内容の確認テスト 間違えた問題はやり直しを提出				
SELECT・エイリアス・計算・関数						2		教科書をベースに実習				
WHERE・LIKE・AND・OR						2						
ORDER BY・GROUP BY・HAVING						2						
確認テスト2						1		確認テスト1以降～ここまでの範囲のテスト 間違えた問題はやり直しを提出。				
UPDATE・INSERT・DELETE						2		教科書をベースに実習				
テーブルの結合						6						
サブクエリ						4						
確認テスト3						1		確認テスト2以降～ここまでの範囲のテスト 間違えた問題はやり直しを提出				
総合演習課題1						3		全範囲を対象に演習課題を出題。指定された内容の処理を行うSQL文を自分で考え作成する。				
総合演習課題2						3						
総合演習課題3						3						
確認テスト4						2		全範囲の確認テスト				
合 計						37						
時間外学習について												
授業内容については必ず教科書を読み予習を行うこと。また、授業時間内に終わらなかった作業については次の時間までに終わらせておくこと。毎時間復習を行い確認テストに備えるとともに、確認テストで間違えた問題についてはやり直しを提出すること。												
成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について												
4回の確認テストの平均点で100%評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は評価点が90点以上ならばS、80点以上ならばA、70点以上ならばB、60点以上ならばCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。												
その他(科目と実務経験との関連性について)												

2020.04.01

科目名	グループワーク				担当教員名	小田原香織・工藤マリ			☐ 実務経験			
学科名	医療情報		学科	学年	1	単位数(時間数)		1単位(34時間)				
実施時期	11月	～	3月	授業形態	講義	△	演習	実習	○	実技	△	○は主、△は併用
教科書 及び参考書												
授業の概要とねらい												
就職し、社会人として働く際には知識や技術やだけではなく、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力も必要になる。本科目では、グループワークを通じて就職後に必要なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身に付けることを目的とする。												
到達目標												
グループワークでのファシリテーターの役割について理解し、積極的な議論を行うことが出来るようになる。またPowerPointを使用して効果的なプレゼンテーションが行えるようになること。												
授業計画												
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)						
授業説明・アイスブレイク					2	短時間のスピーチやグループワークを行うことで自分の意見を述べることに慣れさせる。また、グループワークで重要なことは何かを考えさせる。						
グループワーク1					2							
グループワーク2					2							
グループワーク3					2							
グループワーク4					2							
グループワーク5(プレゼンテーション1:医療制度について)					4	PowerPointの操作方法および発表方法を最初に教え、テーマを決め、プレゼンを行う。作成時間については3時間とし、発表後、プレゼン内容について評価を行う。作成したPowerPointについては提出する。						
グループワーク6(プレゼンテーション2:医療と病院管理)					4							
グループワーク7(プレゼンテーション3:地域医療連携・遠隔医療)					4							
グループワーク8(プレゼンテーション4:医療情報システムについて)					4							
グループワーク9(プレゼンテーション5:情報システムセキュリティ技術)					4							
グループワーク10(プレゼンテーション6:情報システムの構成と機能)					4							
合 計					34							
時間外学習について												
プレゼンテーション資料については時間内に作成が終わらない場合、課題とする。プレゼンテーション前に発表練習を行っておくこと。												
成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について												
出席率・授業態度を40%、PowerPointの資料および発表内容について60%で評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率100%かつ評価点が90点以上を条件に、上位2名を評価「S」とする。出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。												
その他(科目と実務経験との関連性について)												

その他(科目と実務経験との関連性について)

シラバス

作成日

2020.04.01

科目名	医療情報システムⅠ				担当教員名		堤 明裕		□ 実務経験		
学科名	医療情報			学科	学年	1	単位数(時間数)		3単位(54時間)		
実施時期	11 月	～	3 月	授業形態	講義	○	演習	△	実習	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	医療情報 第6版 医療情報システム編										
授業の概要とねらい											
厚生労働省が進める病院システムの標準化と病院内のシステム化によるワークフロー、システム化を進める上で必要なガイドラインを履修。その上で次年度8月に行われる医療情報技師の本試験に向けての対策としての授業も併せて行う。											
到達目標											
病院の電子システム構築の際に必要な各部門ごとの業務とつながりが十分に理解出来ていること。 システム化をする上で必要なガイドラインの十分な理解が出来ていること。											
授業計画											
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)					
(1章)医療の情報化の歴史と医療情報の特性					2	病院の情報化の経緯他					
(2章)医療情報システムの標準化と各種連携について					3	標準化に関わる各種基盤紹介と目的の紹介					
					3	標準化で可能になった各種事業との連携					
(3章)病院システム全体の説明～レセコンの導入					4	レセコン発展の経緯と電子化普及					
(3章)電子カルテとレセコンの連携、オーダーエントリ					4	電カルとレセコンの連携と診療部門より出されるオーダーエントリについて					
(3章)情報管理と物流管理による経営管理とデータの運用					4	情報と資材管理による経営状況の把握と患者データによる統計の運用、紙媒体の使用					
(3章)中央診療部門系システム (診療部門直通のシステム:薬剤・検体検査部門)					4	診療部門のオーダー受け、処理、完了連絡					
(3章)中央診療部門系システム (診療部門直通のシステム:生理機能検査部門)					2	生理機能検査の種類とオーダーとの連携					
(3章)中央診療部門系システム (診療部門直通のシステム:内視鏡・病理検査部門)					4	内視鏡検査と検査によって発生する病理検査システム、オーダーとの連携					
(3章)中央診療部門系システム (診療部門直通のシステム:放射線検査部門)					4	RISとHISの繋がり、RISとPACSの繋がり PACSの機能とDICOM、IHEについて					
(3章)歯科・口腔系、各科検査・処置システム					2	歯科系システムと通常の病院システムとの違い、中央診療系以外とのシステム連携					
(3章)入院に関するシステム					4	入院時の予約、入院管理、食事オーダーとの連携、チーム医療					
(4章)システム導入時の院内・院外との調整					2	システム導入時の院内各種部門、ベンダとの調整事項					
(5章)医療情報システム運用のための各種ガイドライン					4	医療情報の安全管理に関するガイドライン他					
(6章)病院システムの外部監査、評価について					3	システム評価、業務評価について					
(7章)医療情報システムを支える各種標準化と用語					3	システム標準化のための規約と各種用語 各用語と各科との関連					
(8・9章)技師の仕事の進め方と将来的な展望					2	技師の3Cと海外との比較、将来的な展望					
合 計					54						
時間外学習について											
ガイドライン等の厚生労働省発行書類をDPFデータにて渡し、各種資料を見ながら模擬問題を解答してもらう。											
成績評価の方法及び評価割合について											
各項目終了時に行う確認テストの結果と学期末の試験、出席状況で評価を行う。評価割合は 各種テスト結果:50% 出席状況:50% 計100%。成績判定:95点以上=S 80点以上=A 70点以上=B 60点以上=C 出席率80%未満および課題未提出の者=D(不可)とする											
その他(科目と実務経験との関連性について)											

科目名	医療情報処理 I				担当教員名	小田原 香織				☐ 実務経験	
学科名	医療情報			学科	学年	1	単位数(時間数)		3単位(54時間)		
実施時期	11 月	～	3 月	授業形態	講義	○	演習	△	実習	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	医療情報技師能力認定試験 過去問題・解説集 解説医療情報技師能力検定試験問題										
授業の概要とねらい											
医療情報技師受験科目の情報処理科目の知識を身につけ、医療情報技師資格の取得に向けて実施する。											
到達目標											
医療情報技師能力認定試験の情報処理科目について理解できるようになる。											
授業計画											
授業項目・内容						時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)				
医療情報技師過去問題2017年情報処理科目の実施及び解説						20	医療情報処理について深く理解してもらうため、導入の2017年問題を丁寧に解説を行うことで、後に円滑に進むようにする。 過去問題を繰り返し行い、また、記述方式での確認テストを行うことで資格試験に合格するよう行っていく。				
医療情報技師過去問題2017年情報処理科目の記述テスト及び解説						2					
医療情報技師過去問題2018年情報処理科目の実施及び解説						14					
医療情報技師過去問題2018年情報処理科目の記述テスト及び解説						2					
医療情報技師過去問題2019年情報処理科目の実施及び解説						14					
医療情報技師過去問題2019年情報処理科目の記述テスト及び解説						2					
合 計						54					
時間外学習について											
記述テスト・模擬試験やり直しの提出。											
成績評価の方法、評価割合及び成績評価の基準について											
出席日数および授業態度を30%、確認テスト・模擬試験の結果を70%として評価し、評価点(100点満点)を算出する。評価は、評価点が100点のみをS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をCとし、59点以下はD(不可)とする。尚、出席率80%未満や未提出の課題があるものはD(不可)とする。											
その他(科目と実務経験との関連性について)											
